

2026年度 大学院 FD 講演会

専任教員(助教以上)対象講演会

昭和医科大学歯学部における 大学院教育の特色



演者: 美島健二先生

昭和医科大学歯学部口腔病態診断科学講座
口腔病理学部門

日時: 2026年10月14日(水) 18:00~19:00

場所: 東京歯科大学 水道橋校舎西棟1階ラウンジ

昭和医科大学大学院では、春入学(4月)と秋入学(10月)の年2回の入学時期を設定しており、大学院進学之机を広く確保しています。入学時には、学位取得の中心となる科目(主科目)と、それに関連する科目(副科目)を選択します。単位取得に関する本学の特徴として、4学部研究科(歯学、医学、薬学、保健医療学)に共通する必修科目および選択科目が設けられている点が挙げられます。すなわち、研究倫理をはじめとする研究者として必要な基礎的知識については、4学部共通の必修科目を通じて修得します。さらに、各学部が独自に開講している科目についても、学部・研究科の枠を越えて比較的自由に履修することが可能です。

学位研究については、3年次の6月に中間報告会が実施され、指導教員および大学院生に対してフィードバックが行われます。その後、学位論文の英文誌への投稿および受理、教授会における最終審査を経て、学位取得に至ります。

本講演では、昭和医科大学大学院の教育体制およびその特徴について概説いたします。

略 歴

1991年徳島大学歯学部卒業、1995年博士(医学)取得(奈良県立医科大学)
奈良県立医科大学助手、米国国立衛生研究所(NIH)/歯学頭蓋顔面研究所(NIDCR)
客員研究員、徳島大学歯学部助手、鶴見大学歯学部准教授を経て、2011年から昭和
医科大学歯学部 口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門 教授

問い合わせ先: 大学院事務 堂地 E-mail: dochi@tdc.ac.jp